

いっしょに
神楽踊りをしませんか

神楽踊り教室生募集

「神楽踊り教室」では、
今日まで絶えることなく踊
り継がれてきた郷土の民俗
芸能を小・中学生に伝承し
ています。



とき

5月13日(土)、27日(土)

午前9時半〜

ところ 町民会館

参加費

初めての人は500円

申込及び問合せ先

生涯学習課 820 5621

(生涯学習課)



子ども110番の家

地域の子どものを守るため
に新しく「子ども110番
の家」に協力いただける方
を募集しています。

活動の内容

・玄関に「子ども110番
の家」のステッカーを表
示し、子ども達に安心感

←このステッカーが目印です



新たな歴史と伝統をめざして

この地に
(122)

熊野高等学校

4月6日(木)午後、第30回入学式を挙行致しました。第1回入学式は、昭和52年熊野第三小学校の体育館を借用して行いました。当時初代校長は、「僕等の前に道はない。僕等の後ろに道は出来る」「私達一人ひとりのすることが直ちに熊野高校の歴史となり伝統となって残されていく」旨の発言をしています。

以後、8000人を超える卒業生一人ひとりが熊野高校の歴史と伝統を築いてきました。そして、現在在籍する557名の生徒へ大きな期待と夢を描いて、新しい年度がスタートしました。

今年11月には、その節目となる学校創立30周年記念行事を行います。「行って良かった、行かせて良かった」と言われる学校に向けて邁進します。



↑ 武道館横の
モニュメント



問合せ先 熊野高等学校 854 4155

問合せ先

生涯学習課

820 5621

(生涯学習課)

くまの俳壇

熊野俳句同好会

【熊野婦人俳句会】

被爆ドーム包める霧の暖かし
オリオンのはや南中や春の宵
サイフォンの音聴いてある雪催ひ
庭の木々一気に緩び春めけり
揚雲雀還暦の友集ひけり
しゃぼん玉風乗り替へて乗り替へて
園児らの発表会や木の芽晴

森 藤 千 鶴
隠 土 信 子
平 山 篤 子
久 保 田 フクヨ
今 田 真由美
上 野 啓 子
堀 野 眞理子

**おめでとうございます
「タヒチ大統領賞受賞！」**



↑タヒチでの展覧会の様子

役場庁舎にも油絵を寄贈していただいている、永田勇さん(中溝)が、このたびフレンチポリネシアのパペーテ市で2月14日(火)から17日(金)に開かれた「ネオ・ジャポニズム・in・タヒチ2006」の展覧会で「タヒチ大統領賞」を受賞しました。この賞は、日本とフレンチポリネシア両国の文化親善に貢献したことを意味しています。

2004年に文化交流事業として始まったこの展覧会は、今回で3回目。ゴーギャンの孫にあたるマルセル・タイ氏もこの展覧会に協力しています。



永田勇さん

永田さんは今回の受賞に際して、「今まで描いて来て良かった、というのが率直な気持ち。これからも作品を作り続けながら人に教えることで、絵の好きな人を1人でも多く育てたい。」と喜びを語られました。

また、今回の作品は版画化された後、9月からメキシコで開催される「WORLD PEACE ART EXHIBITION 2006」においても展示が決定しています。

(企画課)

広報「くまの」では、町民の皆さまのお宅に広報が届く期間を考慮して、おおむね毎月11日以降から翌月10日までのお知らせを掲載しています。

ぶくらの苗木を寄贈していただきました!



中央ふれあい公園内に3月28日(火) ^{ごひちかい}五七会(宗像光昭代表)8名により、紅しだれさくらの苗木8本を寄贈していただきました。ありがとうございました。

問合せ先 都市整備課 820 - 5608 (都市整備課)

海に向く能登の棚田の黄水仙
遠近の野山煙れる芽吹き雨
春光や岩壁叩く波がしら
【西公民館俳句同好会】
廃線の名残り駅舎の芝桜
工場の予定地のまま草芽ぐむ
山茶花の風なき土に散りにけり
文政の低き鳥居や冴え返る
藪椿落ち朝毎に踏まれけり
せせらぎの音おきかり春の川
産土の杜に名草の芽出でぬ
堆肥から湯気あがりをり梅咲ける

オリンピックが終り日本は金一個に終わりました。これをいろいろと批判していますが、批判にも好意と悪意がありました。
選手は日本を代表して出場したのです。精いっぱい競技をしています。力が及ばなかった事実をどう反省するか、この反省こそが次の結果につながるものと思わしますが、全体をもう一度見直してみてもいいと思いますが、時は春です、気を引き締めましょう。

木村 里風子

木 南 進 渡 別 尺 関 新 大 馬 亀
村 村 藤 辺 府 田 村 田 田 上 谷
里 マ 津 文 藤 せ 光 竹 文 芳 江
風 サ 美 代 絵 つ 子 美 子 子 恵